

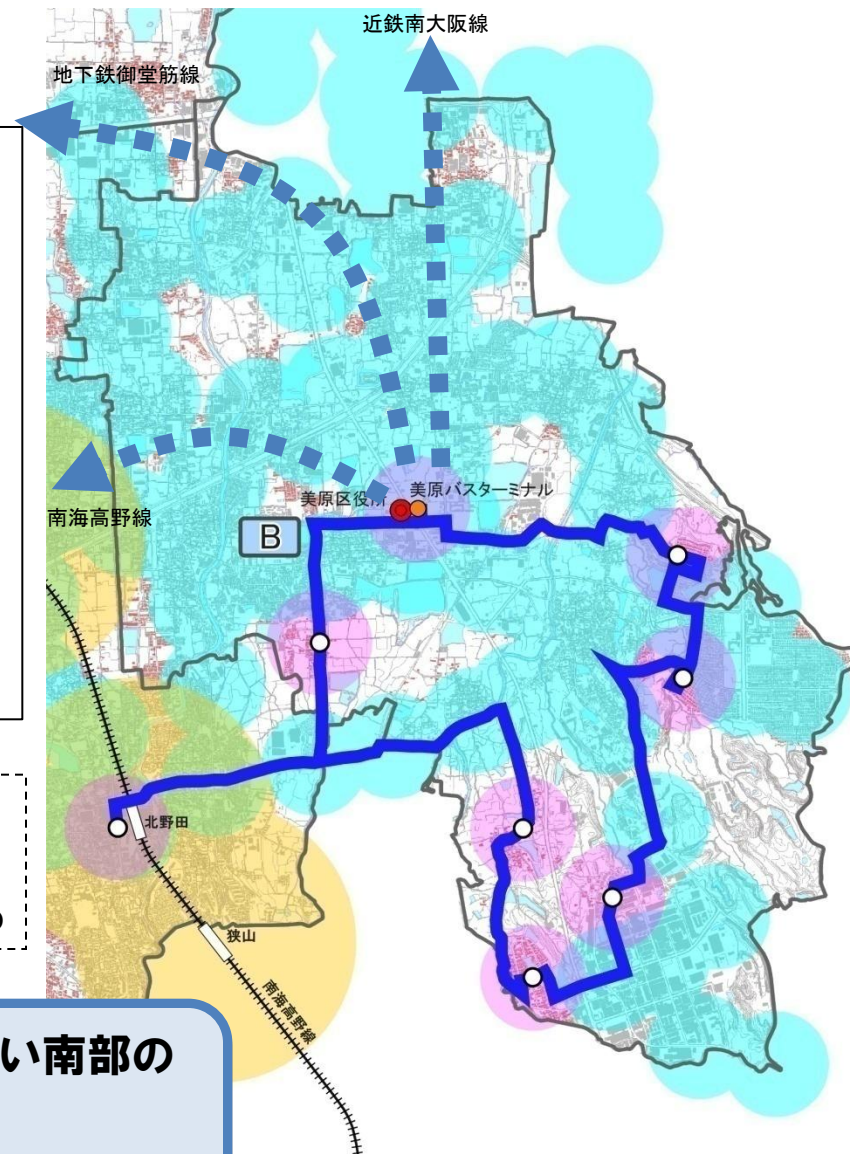
補足. Bルート(美原区)

地域の特徴

- ・区内に鉄道駅がないものの、バス路線が充実しており、小規模な公共交通空白地域が点在している
- ・住居集積は低いが、区南部における公共交通空白地域は美原区内では比較的住居集積が高い
- ・区役所が鉄道駅に近接していない
- ・区役所前にバスターミナルが設置され、H24.7.1から供用開始
- ・区役所周辺には複数のバス路線があり、南海高野線、地下鉄御堂筋線、近鉄南大阪線の最寄り駅へアクセスが可能
- ・区役所周辺にはスーパー等商業施設が立地

美原区民の日常生活(買物、通院等)を支え、広域的な移動の支援と区役所へのアクセスを確保するために、鉄道駅及び美原バスターミナルへのアクセスを確保する

- ・鉄道駅、美原バスターミナルと住居集積が比較的高い南部の公共交通空白地域間を効率的に接続 → 1 駅循環
- ・運行距離が長い循環路線となるため、両回りでの運行が必要



■使用車両

【新たな運行形態の特徴】

・公共交通空白地域に特化した交通サービスであり、需要が少ないことが想定される

・公共交通空白地域内の道路は、狭い幅員の区間が多い

・継続的な運行を行うためには、効率性を向上させる運行が必要であり、需要が予測できない現時点では、初期投資の少ない形態での運行が必要

・きめ細かいサービスを提供するためには、狭い幅員でも走行可能な小型車両による運行が必要

当面はセダン型により運行

ただし、1台の乗車定員を超える予約がある場合は、増車により対応

**セダン型にて実証運行し、需要を把握
需要状況に応じてワゴン等への変更について検討(PDCAサイクルに基づく見直し)**

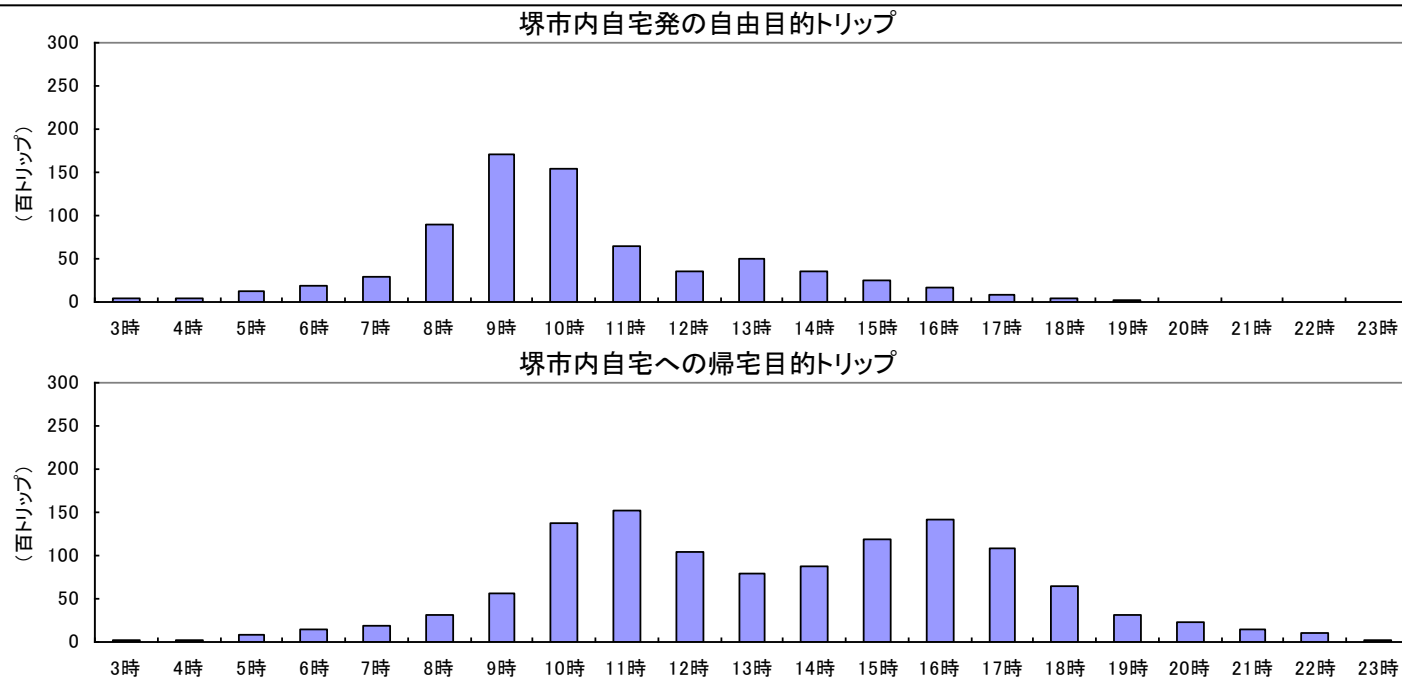
■運行頻度

平日運行で便数は4(便/日)程度

●高齢者、妊産婦、車を持たない人等の日常生活(買物、通院等)を支える移動環境を確保

(参考)高齢者(65歳以上)の移動時間帯をみると、

- ・自由目的トリップでは、9・10時の移動が多い
- ・帰宅トリップでは、10～12時および14～17時が多い



出典:第5回近畿圏PT調査速報値(堺市の独自集計)

9時～17時で4(便/日)でダイヤ設定
※1往復(1循環)で1便とする

■運賃

路線バスと同等程度の額で設定(100円単位)

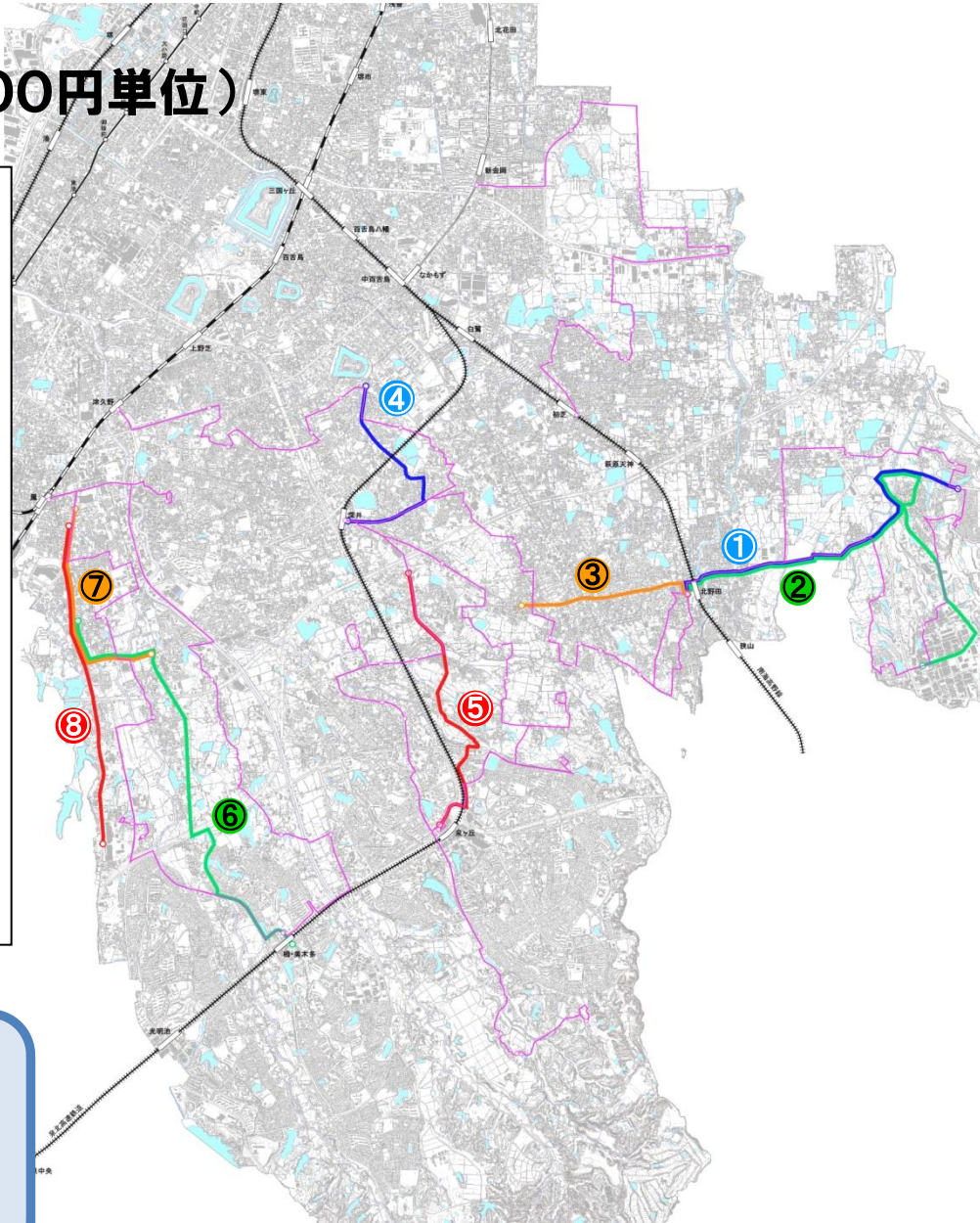
●路線バスの運賃

新たな運行形態のルート周辺で同程度と考えられる路線バスルートの運賃

	区間	運賃(円)
①	さつき野西～北野田駅前	270
②	木材団地～北野田駅前	270
③	北野田駅前～金山	220
④	深井駅(東側)～土師北口	220
⑤	泉ヶ丘駅(北側)～北垣外	240
⑥	柵・美木多駅～石橋	360
⑦	鳳駅前～万崎	260
⑧	日本工機前～長承寺	250
⑨	泉北ニュータウン内住区～最寄駅	210～230

300円均一運賃とする

※駅から駅または駅から美原バスターミナルへの乗車は不可



■新たな運行形態の計画内容

項目	内容
運行システム	・デマンド型 あらかじめルートや停留所を設定し、予約があった場合に停留所間を運行
運行ルート	・鉄道駅と公共交通空白地域間を結ぶルート 計9ルート(資料3)
使用車両	・セダン型 (乗客定員4名) 1台の乗車定員を超える予約がある場合は増車により対応
運行頻度	・平日の9時～17時で4(便/日)でダイヤ設定
運賃	・大 人:300円 ・子ども:150円 ※その他の割引制度については検討